

(5 分設定)

※実技指導については指導状況を見ながら試験官が指示を出す場合があります。

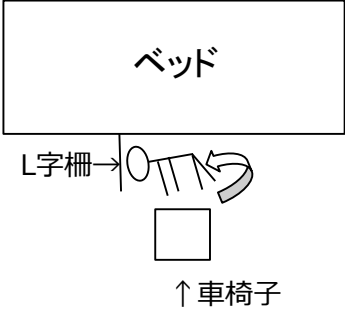
2025年 マイスタークラス実技試験問題（別紙）

吉田様のAIDL	吉田 清子様 86歳、要介護2、認知症自立度：自立 障害高齢者の日常生活自立度：A2
	車いすを自操し、日常生活は一部介助で可能。
	こだわりが強く、気難しい一面があるが、施設の生活にも慣れて、自分のペースで過ごしておられる。
	両膝に変形性膝関節症を患っており、立ち上がり時に痛むことがある。

事故報告書

提出日 令和 7年 3 月 8 日（土）

発生日時	令和 7年 3 月 7 日 12 : 55
利用者氏名	吉田 清子様 （男・ <u>女</u> ） 86 歳
入所施設	〇〇有料老人ホーム

事故内容	< 種 別 > 転倒・誤嚥・誤薬・その他（<u>転落</u>） < 発生状況 > (12:55)吉田様より、「部屋に帰りたい。」と呼び止められ、お部屋へお連れする。 (12:58)お部屋に到着し、ベッドに垂直に車椅子をつけ、見守りのもと移乗してもらったが、向きを変える際にふらつきがあり転倒した。	< 状況図 > 
	対応内容 (13:00) 足、手など可動に問題なく、痛みもないとおっしゃる。 (13:03) 二人介助で車いす移乗。再度身体状況の確認を行うと、左目尻当たり3CM程度内出血あるが、痛みなし。 BP=151/73、P=79、KT=36.3℃。 (13:10) 左目尻クーリング施行 (13:20) 転倒の件、長男へ連絡。「わかりました、様子見てください。お手数かけますね。」とおっしゃる。	
	その後の経過 (15:30) 気分不良はみられず。おやつ完食。トイレ誘導し、立位もしっかりとれており下腿や上肢の痛みの訴えなし。左目尻は触れると痛いという。 (18:30) 夕食の際には「今日はごめんね、心配かけたね」とおっしゃり、夕食は全量召し上がる。 内出血は3センチほどで、転倒時からは色が濃くなっている。 (19:00) 長男へ経過報告。「何もなくてよかったです。ありがとう」とおっしゃる。	
	再発防止策 見守りの距離が遠かったので手が届くように近くで見守る。	
	報告者	前田 一郎 ㊞

